



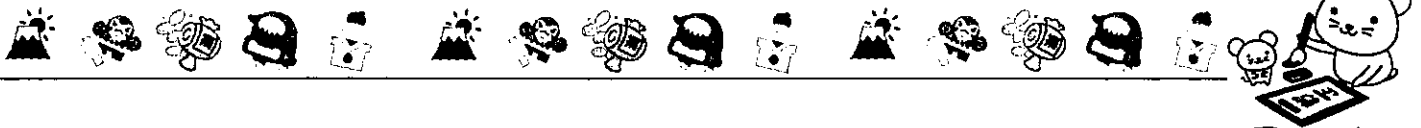
新しい春の訪れを、お慶び申し上げます。

園長 野中 泉

新年によせる「言葉」 新年のひとつに選ぶ言葉としては、ふさわしくないとお叱りをうけるかもしれませんが、あえて。今年は「SEX」という言葉を選びます。普段たくさんの方がいる場で耳にすることも、口にすることも少ない言葉ですが、私は昨年末にアトムで2度、この言葉と正面から向き合う機会がありました。1度目は育む会でお招きした笑福亭銀瓶さんのトークショーです。銀瓶さんの中学時代の恩師（女性）が、社会科の最初の授業で黒板に大きく「SEX」と書き、続けてこんなふうにご話してくれました。「社会のすべてのはじめはこれや。人間と人間が会って、命が生まれる。そして、その命同士が作り出しているのが社会や」。その言葉を何十年も大事に覚えていた銀瓶さんにも感動しましたが、同時にとても当たり前のことに、今更のように気づく自分にハッとしました。私たちはともすると「社会が冷たい」「社会が悪い」というような言い方をしがちです。でも、その社会をつくっているのは誰か。私もまた、そのひとりではなかったか。「SEX」というシンプルな3文字に、大きな「問いかけ」をもらったと感じました。

2度目は、4・5歳児合同で行った「性と生の懇談会」（特集はP3・4）です。車座に座ったいつもの懇談会のくつろいだ雰囲気の中、とても自然に「SEX」や「自慰」「性器」という言葉がお父さん、お母さん、保育士の口から発せられました。タブーでショッキングな言葉としてではなく、産まれてきた命をふり返り、どの子にも自分の「性と生」を肯定しながら育ってほしいと願う親や保育士の思いと共に語られたその単語は、今まで私が聞いたどの時よりも、自然でそして力強く聞こえました。改めて、保育園という場で、「性」というテーマを真正面から語り合う懇談会を10年以上続けてきたアトムのすごさを思わずにはられません。

2020年は、どんな一年になるでしょう。アトムをつくるひとりとして、この社会をつくるひとりとして、人としてこの世に生を受けたひとりとして。新しい年と、真摯に出会いむきあっていききたい、そう願っています。



事務室の仲間たち、そして全体フリーのあけみちゃん(田丸)からも、今年抱負の漢字一文字とともに、新年のご挨拶です！



幸 かめちゃん(亀地)

美味しいもの食べて幸せ♪寝て幸せ♪行きたいところ行って幸せ♪アトムに来て幸せ♪
(行きたくない日もあるけど(笑))
保育でも、子どもたちが幸せ♪と思える日が一日でも多くあることを大切にしたいです！

笑 あけみちゃん(田丸)

笑って過ごせる毎日が、どれだけありがたいことか年を重ねるたびに強く感じます。今年もみんなと一緒にたくさん笑いたいです！

希 うっちー(内田)

いつも希望を持って、いろいろなことを諦めず、でも肩の力を抜いて、自分の人生を楽しみながら、日々を過ごしていきたいなと思います！

無 めいこさん(林)

今年はこれにつきます。以上

労 よしおちゃん(吉尾)

昨年をふりかえる一文字として 労働、苦勞、勞う、勞わる…。 “労”を通して、たくさんのことを感じた一年でした。

歩 みねちゃん(上原)

今より一歩、二歩とゆっくりでもいいから進んでいけるように。互いに歩んでいながら、互いに歩みよりながら、それぞれの道を歩んでいけますように。

